

2025年第2回 Japan Council 理事会議事録

日 時：2025年7月4日（金）13時30分~17時

場 所：沖縄県教職員共済会館 八汐荘 中会議室 Zoom 併催

出席者：末松 Chair、滝嶋 Vice Chair、久本 Secretary、菅原 Treasurer、佐藤 札幌支部 Secretary、村岡 仙台支部 Chair、山田 信越支部 Chair、平本 東京支部 Chair、鈴木 東京支部 Vice Chair、木村 東京支部理事、野中 東京支部理事、上原 名古屋支部 Chair、尾上 関西支部 Chair、密山 四国支部 Chair、亀田 広島支部 Chair、中野 福岡支部 Vice Chair、西尾 COC (Chapter Operations Committee) Chair、佐藤 SAC (Student Activities Committee) Chair、日高 AC Vice Chair、釣谷 IPC (Industry Promotion Committee) Chair、宮永 Past Chair、奥村 Past Secretary、樋口 Past Treasurer、林 MD (Membership Development) Coordinator、浅井 LRSC 承認理事、森田 YP (Young Professionals) Coordinator、太田 LM (Life Members) Coordinator、植村 EA (Educational Activities) Coordinator、角 WIE (Woman in Engineering) Coordinator、福田 Past IEEE President、西原 R10 Past Director、橋本 R10 Director、矢野 R10 Secretary、大野 R10 Treasurer、

事務局：加藤事務局員、福岡事務局員

幹事会社：千野、鈴木（麻）、大鰐、木村（記）

（合計 40 名 現地参加：32 名 オンライン参加：8 名 欠席：0 名）

【議題】

1. 前回理事会議事録の確認 【審議】

2. JC での審議事項 【審議】

(5-2.) HC (History Committee) *

(9-3.) IEEE Milestone 申請について 【報告】

(9-1.) HISTELCON 2026 の日本誘致について

(6-6.) 関西支部 *

(5-3.) JC 役員選挙制度整備 Ad-Hoc Committee

* については、報告者のスケジュールにより、議題項目順とは異なるが、理事会前半にまとめて報告された

3. 2025 年 中間会計報告

4. 常設委員会 前回理事会以降の活動報告

4-1 COC (Chapter Operations Committee)

4-2 SAC (Student Activities Committee)

- 4-3 AC (Awards and Recognition Committee)
- 4-4 IPC (Industry Promotion Committee)
- 5. Ad-Hoc 委員会 前回理事会以降の活動報告
 - 5-1 LRSC (Long Range Strategy Committee)
 - 5-2 History Committee
 - 5-3 JC 役員選挙制度整備 Ad-Hoc Committee
- 6. 各支部 2025 年活動計画および前回理事会以降の活動報告
 - 6-1 札幌支部
 - 6-2 仙台支部
 - 6-3 信越支部
 - 6-4 東京支部
 - 6-5 名古屋支部
 - 6-6 関西支部 *前半で報告
 - 6-7 四国支部
 - 6-8 広島支部
 - 6-9 福岡支部
- 7. 福岡支部の最近の活動ご紹介
- 8. Coordinator 前回理事会以降の活動報告
 - 8-1 MD (Membership Development) <Fellow Elevation Support, Promotion Committee 含む>
 - 8-2 YP (Young Professionals)
 - 8-3 LM (Life Members)
 - 8-4 EA (Educational Activities) 【審議】
 - 8-5 WIE (Women in Engineering)
- 9. その他
 - 9-1 HISTELCON 2026 の日本誘致について *前半で報告
 - 9-2 IEEE JC ロゴ・コンペについて 【審議】
 - 9-3 IEEE Milestones 申請について 【報告】 *前半で報告
 - 9-4 R10 Meeting 日本開催について 【報告】
 - 9-5 VICS2025 報告
 - 9-6 Geographic Units in Jeopardy of Dissolution について

【議題<審議・決定事項>】

※各報告内容詳細については理事会資料をご参照。

※Action Item 部分には下線

以下の審議事項につき、異議なく承認された。

議題 1. 前回理事会議事録 久本 Secretary より報告。

議題 2. JC での審議事項

(9-3.) **IEEE Milestone 申請**について 尾上 JC HC Chair、末松 JC Chair より報告。

IEEE Milestone の贈呈に関する確認と方針につき、明示された。(詳細は資料参照)

・マイルストーン贈呈式は基本的にはセクション主催で行うこと。祝賀会は受賞者側が主催する。贈呈式に関してセクション負担が発生する場合には、必要に応じて、セクション支援費を申請してもらって構わない。

・銘板購入についてはセクションがまずはコミットメントすること。セクションで銘板購入しなければならない場合には、必要に応じて、セクション支援費を申請してもらって構わない。

・マイルストーン銘板の管理はセクションが行う。

銘板の管理方法、祝賀会のやり方等について質問があったことを受け、Milestone ステータスリストで必要な情報が入手できるよう、次回理事会資料までにリンクを埋め込む。

(9-1.) **HISTELCON 2026 の日本誘致**について 尾上 R10 HC Chair より報告。

R10 主催で HISTELCON 2026 の実行委員会を設置し、以下の要領で開催する。

会場：日立馬場記念ホール 日立製作所 中央研究所 (東京都国分寺市)

日時：2026 年 11 月 25-27 日 (※会場の都合で、理事会での報告から変更)

(5-3.) **JC 役員選挙制度整備 Ad-Hoc Committee** 滝嶋 JC Vice Chair より報告。

第 1 回 JC 理事会での承認により設置された JC 役員選挙制度整備 Ad-Hoc Committee より提示された以下 3 点。

- ① Elections Committee(EC)編成責任者として Past Secretary が任に当たること。
- ② JC 理事から受領したコメントを反映し Ad-Hoc 委員会が策定した対応方針に了解いただくこと。
- ③ 関連文書 3 点を JC 各理事で確認を行い、意見等がある場合には 7 月 31 日までに提出すること。

議題 8. 8-4 EA (Educational Activities) 植村 JC EA Chair より報告。

Web 上で EA の動画サイトを作り、主催講演会内容など Create Commons のライセンス取得済の情報を公開することにつき、本部でも承認され、順次公開していく。EA で作成した手順書と Create Commons の承諾書の内容をメール審議 (後日) すること。

議題 9. 9-2 IEEE JC ロゴ コンペについて 久本 JC Secretary より報告。

JC ロゴ作成にちなみ、コンペを行い、学会副賞として 10 万円を想定。第一審査では選定委員会にて本部規定適合を判断、第二審査では支部代表等で審査委員会を結成し、投票で決定する。

2025年8月 コンペ告知

9～10月 応募期間

11月～2026年1月 審査

3月末の R10 Meeting の前日開催の JC 理事会にて受賞式を開催予定。

また、作成される JC ロゴを共通フォーマットとし、各支部の特色を追加したロゴ作成に賛同する支部を募集する。

9-4. R10 Meeting 日本開催について 橋本 R10 Director より報告。

・ IEEE R10 Meeting 2026 を以下の要領で開催予定。

日時 :2026 年 3 月 28 日-29 日

場所 :北九州国際会議場 (予定)

ホテル :リーガロイヤルホテル小倉 (予定)

・ 3年に1度の Sections Congress が英国グラスゴーで2026年8月21-23日に開催されるが、前日8月20日に同会場にて R10 Meeting の開催も予定するので、Sections Congress に参加予定の各支部代表は R10 Meeting も含めた日程での旅程を提案すること。

9-6. Geographic Units in Jeopardy of Dissolution について 橋本 R10 Director より報告。

MGA より vTools で適切な報告をしていない OU として、JC WIE、四国・福岡・広島支部ジョイント WIE への支援打ち切りの警告があった。JC WIE については正式な解散手続き済のため、本部での確認を依頼する。ジョイント WIE の現状につき、四国支部 Chair より至急現状把握調査中との報告があった。

【各議事概要】 ※各報告内容詳細については理事会資料をご参照。

IEEE JC 末松 Chair より挨拶

議題 1. 前回理事会議事録の確認 【審議】久本 Secretary より以下7点について再確認の説明があり、異議なく承認された。

- ①事務局の運営について
- ②理事会構成の確認
- ③昨年度の監査報告
- ④25年度の活動計画と予算
- ⑤各 OU からの2025年の計画
- ⑥25-26にかけて役員選挙について (滝嶋 JC Vice Chair から議題2で報告)
- ⑦ロゴ作成について (議題9で報告)

議題 2. JC での審議事項 【審議】

(9-3.) IEEE Milestone 申請について 尾上 R10 HC Chair、末松 JC Chair より報告。
IEEE Milestone の贈呈に関する確認と方針につき、明示された。(詳細は資料参照)

・マイルストーン贈呈式は基本的にはセクション主催で行うこと。祝賀会は受賞者側が主催する。

・銘板購入についてはセクションがまずはコミットメントすること。

・マイルストーン銘板の管理はセクションが行う。

銘板の管理方法、祝賀会のやり方等について質問があったことを受け、Milestone ステータスリストで必要な情報が入手できるよう、次回理事会資料までにリンクを埋め込む。

(9-1.) HISTELCON 2026 の日本誘致について 尾上 R10 HC Chair より報告。

R10 主催で HISTELCON 2026 の実行委員会を設置し、以下の要領で開催する。

会場：日立馬場記念ホール 日立製作所 中央研究所（東京都国分寺市）

日時：2026 年 11 月 25-27 日（※会場の都合で、理事会での報告から変更）

(5-3.) JC 役員選挙制度整備 Ad-Hoc Committee 滝嶋 JC Vice Chair より報告。

選挙制度案について説明があり、審議ののち採決により承認された。

第 1 回 JC 理事会にて承認により設置された JC 役員選挙制度整備 Ad-Hoc Committee より提示された以下 3 点。

① Elections Committee(EC)編成責任者として Past Secretary が任に当たること。

② JC 理事から受領したコメントを反映し Ad-hoc 委員会が策定した対応方針に了解いただくこと。

③ 関連文書 3 点を JC 各理事で確認を行い、意見等がある場合には 7 月 31 日までに提出すること。

EC (Election Committee) の構成について質問があり、Past Secretary、Past Chair、あとの 3 名は支部代表 2 名、常設 Committee から 1 名 (COC 等) を想定しているとの回答があった。Nomination Committee の構成についての質問に対しては、MG Operation Manual に準拠する形で、EC は Nomination、Petition、選挙も担当すると回答があった。また、有望な候補者を発掘するのに有効と考えられる Search Committee (仮称) の活動を行うべきとの提言があり、Ad-hoc 委員会で検討を行なうこととなった。

議題 3. 2025 年 中間会計報告 菅原 Past Treasurer より報告。

2025 年度予算及び予測には変化がない。2024 年度 SYWL に関する貸出金 1100 万円が返金された。今年からのキャッシュフローベースの予算管理に対する質問に対し、今年からの手続き変更に適した新しい予算シート (年間支出記入フォーマット) は、申請時とその後の変更についても確認できるフォームとなっているとの説明があった。また、未収金・未払金についての質問があったが、事務局より、Chapter 支援費の報告書が未提出のものがあるため、今後も未払い金は増えるが、数値は確定している旨の説明があった。

議題 4. 常設委員会 前回理事会以降の活動報告

4-1. COC (Chapter Operations Committee) 西尾 Vice Chair より報告。

一部リストの間違い及び、東京支部の申請数の記載依頼があり、修正後、資料を再提出する。

4-2 .SAC (Student Activities Committee) 佐藤 Chair より報告。

4-3 .AC (Awards Committee) <ARC (Awards and Recognition Committee) >

浅井 Vice Chair より報告。

予算は7万円を5万円と修正する。

ARC (Awards and Recognition Committee)

Japan Council Outstanding Volunteer Award の実施日程

2025年8/1 告知開始

9/30 募集締切

12月末までに受賞者決定通知

4-4. IPC (Industry Promotion Committee) 釣谷 Chair より報告。

「社会人博士アンケート」の結果を受け、社会人博士号取得者による講演会、交流会、奨励している研究室の情報共有などの要望についてのアクション、また現 IEEE IEC

(Industry Engagement Committee) 委員の交代の要望があり、後任者について検討中。

議題 5. Ad-Hoc 委員会 前回理事会以降の活動報告

5-1. LRSC (Long Range Strategy Committee) 滝嶋 Chair より報告。

議事録内に未修正部分の指摘があり、修正し再提出する。

5-2. HC(History Committee) 尾上 Chair より報告。

5-3. JC 役員選挙制度整備 Ad-Hoc Committee 滝嶋 JC Vice Chair より報告。 *議題2へ

議題 6. 各支部 2025 年活動計画および前回理事会以降の活動報告

6-1. 札幌支部 佐藤 Secretary より報告。

新入会 Student Member に対する学会活動支援として8名全員に会費支援をしているかについて質問があり、対象は全員であるが、初年度のみが対象であると回答があった。

6-2. 仙台支部 村岡 Chair より報告。

6-3. 信越支部 山田 Chair より報告。

Chapter 支援費の活用についての質問とアドバイスがあり、今年度から積極的に活用し Award の創設などの取り組みを検討すると回答があった。

6-4. 東京支部 平本 Chair より報告。

6-5. 名古屋支部 上原 Chair より報告。

6-6. 関西支部 尾上 Chair より報告。(* 理事会前半部分で報告)

- 6-7. 四国支部 密山 Chair より報告。
6-8. 広島支部 亀田 Chair より報告。
6-9. 福岡支部 中野 Vice Chair より報告。

福岡支部の地域性を生かし、台湾の TSMC（同社 Chair は IEEE の Award を受賞している）にも参加してもらい、半導体関連で講演会等イベント開催、工場見学など若い世代を巻き込むアイデアが出された。福岡支部では積極的に取り組むことを検討したいと回答があった。

議題 8. Coordinator 前回理事会以降の活動報告

8-1 MD (Membership Development) <Fellow Elevation Support, Promotion Committee 含む> 林 Coordinator より報告。

MDC 会議では各支部の取り組みの情報交換が有効だった。会員更新リマインドの時期に 1 月の追加を検討。Students Members と YP の連携について、関西支部での YP SAC WIE MD 共催の社会人と学生との交流イベントの取り組みの有効性について紹介があった。

Fellow Evaluation Support Committee

組織体制の強化として、JC AC Chair 等にも参加してもらい、Nomination Form Check List を作成している。

JC Ad-Hoc Promotion Committee

久本 Secretary より、2 点追加報告があった。

- ①月 1 開催のホームページ推進委員会で本件を進めており、年間計画は後日共有すること。
②人手不足の解消のため、将来的には Promotion Committee の組織編制についても検討中であり、メール審議を行う予定であること。

各 Committee がホームページ上の関連部分の掲載内容確認は必要との意見に対し、久本 Secretary より現在その点を含めたホームページの課題の洗い出しをしている旨の回答があった。また、課題の抽出について、活動報告のみの掲載スタイルを超え、ホームページを活動 PR の場としての活路を見出す視点も持ちたいとの意見があった。

8-2 YP (Young Professionals) 森田 YP Coordinator より報告。

仙台 YP から活動費を獲得していないため活動ができない報告があったが、他にも活動費が支払われていない YP があるかについて事務局に確認依頼があった。

8-3 LM (Life Members) 太田 Coordinator より報告。

所属以外の LMAG の活動に興味がある場合、参加できるかどうかの質問があり、イベント開催案内などは基本的に全会員宛に展開しているし、参加要望は大歓迎するとの回答があった。

8-4 EA (Educational Activities) 【審議】 植村 EA Chair より報告。

Web 上動画公開の手続き案の説明があり、内容を精査したのちメール審議することを承認

した。

資料の修正箇所を修正後再提出する。

掲載コンテンツのアイデアとして、IEEE-TV からの引用について意見があり、検討する旨回答があった。

8-5 WIE (Women in Engineering) 角 Coordinator より報告。

アイデアジャムは来年度に東京信越 WIE が担当となり、現在準備中。

議題 9. その他

9-1 HISTELCON 2026 の日本誘致について 尾上 R10 HS Chair より報告。* 議題 2 へ

9-2 IEEE JC ロゴ・コンペについて【審議】 久本 Secretary より報告。

JC ロゴ作成にちなみ、コンペを行い、学会副賞として 10 万円を想定。第一審査では選定委員会にて本部規定適合を判断、第二審査では支部代表等で審査委員会を結成し、投票で決定する。

2025 年 8 月 コンペ告知

9~10 月 応募期間

11 月~2026 年 1 月 審査

3 月末の R10 Meeting の前日開催の JC 理事会にて受賞式を開催予定。

また、作成される JC ロゴを共通フォーマットとし、各支部の特色を追加したロゴ作成に賛同する支部を募集する。

末松 JC Chair より日本全体の統一性を持つためにも、強制ではないが、各支部でこの機会にロゴ作成への前向きな参加の意見が出された。質問を前提に、作成の段階では、本部で定めるガイドラインを確認して作業すること、また 2 カ月間で 200 件の応募を目標としている旨の説明があった。

9-3 IEEE Milestones 申請について【報告】 尾上 R10 HS Chair、末松 JC Chair より報告。* 議題 2 へ

9-4 R10 Meeting 日本開催について【報告】 橋本 R10 Director より報告。

・ IEEE R10 Meeting 2026 を以下の要領で開催予定。

日時 : 2026 年 3 月 28 日-29 日

場所 : 北九州国際会議場 (予定)

ホテル : リーガロイヤルホテル小倉 (予定)

・ 3 年に 1 度の Sections Congress が英国グラスゴーで 2026 年 8 月 21-23 日に開催されるが、前日 8 月 20 日に同会場にて R10 Meeting の開催も予定するので、Sections Congress に参加予定の各支部代表は R10 Meeting も含めた日程での旅程を提案すること。

9-5 VICS2025 報告 末松 JC Chair、鈴木東京支部 Vice Chair より報告。

9-6 Geographic Units in Jeopardy of Dissolution について 橋本 R10 Director より報告。

MGA より vTools で適切な報告をしていない OU として、JC WIE、四国・福岡・広島支部ジョイント WIE への支援打ち切りの警告があった。JC WIE については正式な解散手続き済のため、本部での確認を依頼する。ジョイント WIE の現状につき、四国支部 Chair より至急現状把握調査中との報告があった。

その他

- ・理事会資料の展開時期を早めるよう意見があり、今後は各報告者からの資料提出期限を厳守し、未提出の OU については割り切る提案が出され、これに対して久本 Secretary より次回は対策を決めるとの回答があった。
- ・役員選挙の際、候補者を奨励する Search Committee 創設の意見が出され、滝嶋 JC Vice Chair より Ad-Hoc 委員会の中で検討するとの回答があった。

以上